



千年サンゴ保全活動「オニヒトデの駆除」

### 千年サンゴ保全活動 未来遺産に登録

日本ユネスコ協会の「プロジェクト未来遺産2015」に、千年サンゴ保全活動が登録された。この未来遺産は、地域の豊かな自然や文化を100年後の子どもたちに残すため、毎年、地域の市民団体が取り組む活動等が登録されたものである。

千年サンゴは世界有数の

大ききの歴史あるサンゴ群落であり、小中学生から大人まで町民が団結して取り組んでいる保全活動に光が当てられたもので、既に日本で52箇所が登録され、四国で3番目となる。シラタマモ、暖地性植物群落、カドカリなど国の天然記念物とともに日本に誇れるものが公となった。

今後より一層、生物多様性の保全に努めるとともに、牟岐町の観光PRにも生かすため、千年サンゴの日の

重要懸案事項である防災、地球規模で異常気象が多発する中、地震対策だけでなく大雨洪水対策も併せて行

### 大雨洪水対策の必要性

地方創生は民間主導でなければ実現は難しい。町内の各種組織、団体の結束と組織間の連携が必要。この戦略計画の策定は、今年度中に行う必要がある。今後、町民の皆様が主導的に活動する取り組みを進めたい。

### 地方創生の取り組みは 民間主導で

できるとすれば今しかない。満を持して取り掛かった地方創生だが、議論は積み重ねているものの、まだ総括的にまとまったものではない。

制定に向けた取り組みを進めたい。



第2回地方創生にかかる有識者会議

大雨時に最も危惧されるのは、土砂崩れである。牟岐町は、これまで特に人命を失う土砂崩れは起きていないが、早目の避難準備情報の発令、避難勧告を実施したい。そのために多くの方が容易に避難できる避難場所の確保が必要である。町内のこれまでの調査で、多くの土砂災害警戒区域等が指定されており、中山間地域は、近隣の避難所も十分な安全性を確保できていない場所が多いため、今後、その対策を考えたい。

基本的に、災害対策は、

一つが使用できない場合、もう一つで対応できるという対策の二重化が必要で、併せて検討したい。

### 健康で長生きできる 健康対策の充実

国民健康保険会計の繰越金も今年度で底をつき、不足分を一般会計から繰り入れる必要が生じることが予想される。また、少子高齢化の進行や医療技術の進歩により、今後とも医療費の増額が進むことが予想される。

牟岐町は、生涯学習の町を掲げ、高齢者の生きがいの創造に努めてきているが、今後とも、年をとっても生きがいのある生活ができ、健康で長生きできる各種施策を行いたい。

現在策定中の牟岐町創生戦略計画でも、健康対策を大きな柱として掲げており、ハード、ソフト両面から牟岐町を差別化できる取り組みを進めたい。